

9 結核対策

診断技術の向上と標準治療の徹底等により平成27年から結核患者は減少傾向にあったが、令和元年よりやや増加傾向にあり、令和5年の管内の結核登録患者数は76人、新登録者数は43人となっている。年齢階級別新登録患者の状況を見ると、60歳以上が約7割、別府市では外国籍の結核患者が平成16年以降、毎年発生しており、10代、20代の若年層の結核罹患率を引き上げている。このような状況から高齢者については高齢者福祉施設、外国人国籍の結核患者については、外国人留学生を受け入れている大学、技能実習生等を受け入れている企業との連携強化が必要である。

(1) 結核新登録者数（活動性分類別・市町村別）

令和5年（単位：人）

	活動性結核								(別掲) 潜在性結核感染症
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	
		総数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
			総数	初回治療	再治療				
管内	43	29	16	16	-	3	10	14	7
東部保健所	28	19	9	9	-	2	8	9	5
別府市	15	10	5	5	-	1	4	5	4
杵築市	9	7	4	4	-	1	2	2	-
日出町	4	2	-	-	-	-	2	2	1
国東保健部	15	10	7	7	-	1	2	5	2
国東市	15	10	7	7	-	1	2	5	2
姫島村	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：東部保健所調べ（厚生労働省「結核発生動向調査」）

(2) 結核新登録者数（活動性分類別・年齢階級別）

令和5年（単位：人）

	活動性結核								(別掲) 潜在性結核感染症
	総数	肺結核活動性						肺外結核活動性	
		総数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
			総数	初回治療	再治療				
総数	43	29	16	16	-	3	10	14	7
0～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	3	3	-	-	-	2	1	-	-
20～29歳	3	3	-	-	-	-	3	-	-
30～39歳	2	1	-	-	-	-	1	1	1
40～49歳	-	-	-	-	-	-	-	-	2
50～59歳	4	3	2	2	-	-	1	1	-
60～64歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
65～69歳	1	1	1	1	-	-	-	-	2
70～74歳	6	2	-	-	-	-	2	4	-
75～79歳	-	-	-	-	-	-	-	-	1
80～84歳	3	2	1	1	-	-	1	1	1
85～89歳	8	7	5	5	-	1	1	1	-
90歳以上	13	7	7	7	-	-	-	6	-

資料：東部保健所調べ（厚生労働省「結核発生動向調査」）

(3) 結核活動性分類別登録者数（受療状況別・市町村別）

令和5年（単位：人）

	受療状況	総数	活動性結核					不活動性結核	活動性不明	(別掲) 潜在性結核感染症	
			総数	活動性肺結核			活動性肺外結核			治療中	観察中
				登録時 喀痰塗 抹陽性	登録時 その他 菌陽性	登録時 菌陰 性・ その他					
管内	総数	76	25	11	-	8	6	51	-	5	5
	入院	6	6	6	-	-	-	-	-	-	-
	外来治療	19	19	5	-	8	6	-	-	5	-
	治療なし	51	-	-	-	-	-	51	-	-	5
東部保健所	総数	66	19	7	-	7	5	47	-	5	2
	入院	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-
	外来治療	16	16	4	-	7	5	-	-	5	-
	治療なし	47	-	-	-	-	-	47	-	-	2
別府市	総数	42	12	5	-	3	4	30	-	4	
	入院	2	2	2	-	-	-				
	外来治療	10	10	3	-	3	4			4	
	治療なし	30	-					30			2
杵築市	総数	13	4	2	-	2	-	9	-	-	-
	入院	1	1	1	-	-	-				
	外来治療	3	3	1	-	2	-			-	
	治療なし	9	-					9			-
日出町	総数	11	3	-	-	2	1	8	-	1	-
	入院	-	-	-	-	-	-				
	外来治療	3	3	-	-	2	1			1	
	治療なし	8	-					8			-
国東保健部	総数	10	6	4	-	1	1	4	-	-	3
	入院	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-
	外来治療	3	3	1	-	1	1	-	-	-	-
	治療なし	4	-	-	-	-	-	4	-	-	3
国東市	総数	10	6	4	-	1	1	4	-	-	3
	入院	3	3	3	-	-	-				
	外来治療	3	3	1	-	1	1			-	
	治療なし	4	-					4			3
姫島村	総数										
	入院			-	-	-	-				
	外来治療			-	-	-	-			-	
	治療なし							-			-

資料：東部保健所調べ（厚生労働省「結核発生動向調査」）

(4) 結核有病率・罹患率（市町村別）

令和5年（単位：人、人口10万人対）

	登録者数	有病率				罹患率				死亡率		人口
		活動性結核患者数	有病率	登録時菌陽性肺結核患者数	登録時菌陽性肺結核有病率	新登録患者数	罹患率	菌陽性肺結核患者数	菌陽性肺結核罹患率	死亡者数	死亡率	
管内	76	25	39.3	11	5.7	43	22.2	16	8.3	5	2.6	193,458
東部保健所	65	19	38.9	7	4.2	28	16.8	9	5.4	2	1.2	167,079
別府市	43	12	37.9	5	4.4	15	13.2	5	4.4	2	1.8	113,373
杵築市	12	4	45.5	2	7.6	9	34.2	4	15.2	-	-	26,347
日出町	10	3	36.6	-	-	4	14.6	-	-	-	-	27,359
国東保健部	11	6	41.7	4	15.2	15	56.9	7	26.5	3	11.4	26,379
国東市	11	6	44.3	4	16.1	15	60.4	7	28.2	3	12.1	24,827
姫島村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,552

注1：有病率、罹患率を算出する際の基準人口は、令和4年10月1日現在人口

注2：死亡率は「結核発生動向調査」によるため、人口動態調査に基づく結核死亡率と値が異なる。

資料：東部保健所調べ

(5) 精密検査（従来の管理検診）実施状況

令和5年度（単位：人、%）

	対象者数(A)	受診者数				受診率(B)/(A)	受診者内訳			要医療率(C)/(B)
		総数(B)	保健所実施分	医療機関委託	その他		要医療(C)	要観察	観察不要	
管内	107	107	19	-	88	100.0	-	87	20	-
東部保健所	96	96	19	-	77	100.0	-	79	17	-
別府市	59	59	12	-	47	100.0	-	52	7	-
杵築市	15	15	2	-	13	100.0	-	12	3	-
日出町	22	22	5	-	17	100.0	-	15	7	-
国東保健部	11	11	-	-	11	100.0	-	8	3	-
国東市	11	11	-	-	11	100.0	-	8	3	-
姫島村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：東部保健所調べ

(6) 接触者健診実施状況

① 患者家族健診

令和5年度（単位：人、%）

	対象者数(A)	受診者数				受診率(B)/(A)	受診結果内訳				要医療率(C)/(B)
		総数(B)	保健所実施分	医療機関委託	その他		要医療(C)	潜在性結核感染症	要観察	観察不要	
管内	48	46	39	-	7	95.8	2	-	16	28	4.3
東部保健所	28	26	25	-	1	92.9	2	-	10	14	7.7
別府市	19	17	17	-	-	89.5	1	-	7	9	5.9
杵築市	7	7	6	-	1	100.0	1	-	2	4	14.3
日出町	2	2	2	-	-	100.0	-	-	1	1	-
国東保健部	20	20	14	-	6	100.0	-	-	6	14	-
国東市	20	20	14	-	6	100.0	-	-	6	14	-
姫島村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：結核の発病時期を考慮し、患者と接触後2年間は観察期間としている。

資料：東部保健所調べ

② その他の接触者健診

令和5年度（単位：人、％）

	対象者数 (A)	受診者数				受診率 (B)/(A)	受診結果内訳				要医療率 (C)/(B)
		総数 (B)	保健所 実施分	医療機 関委託	その他		要医療 (C)	潜在性 結核感 染症	要観察	観察 不要	
管内	266	266	95	12	159	100.0	-	2	106	158	-
東部保健所	206	206	42	12	152	100.0	-	1	80	125	-
別府市	81	81	26	1	54	100.0	-	-	37	44	-
杵築市	86	86	12	11	63	100.0	-	1	28	57	-
日出町	39	39	4	-	35	100.0	-	-	15	24	-
国東保健部	60	60	53	-	7	100.0	-	1	26	33	-
国東市	60	60	53	-	7	100.0	-	1	26	33	-
姫島村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：結核の発病時期を考慮し、患者と接触後2年間は観察期間としている。

資料：東部保健所調べ

(7) 結核予防（健康診断）

令和5年度（単位：人）

	総数	定 期						接触者健診		
		事業者	学校長	施設の長		市町村長		実施件数	患者 家族	その他
				刑事施設	社会福 祉施設	65歳以上	その他			
ツベルクリン 反応検査										
被注射者数	-								-	-
被判定者数	-								-	-
陰性者数	-								-	-
陽性者数	-								-	-
集団健康診断実施件数	39							39		
健康診断受診者数	33,524	14,508	3,861	-	1,912	13,006	-		32	205
間接撮影者数	-		-	-	-	-	-		-	-
直接撮影者数	33,318	14,508	3,861	-	1,912	13,005	-		6	26
喀痰検査者数	-	-	-	-	-	-	-		-	-
I G R A 検査者数	206								27	179
被発見者数										
結核患者	7	-	4	-	-	1	-		2	-
潜在性結核感染者	3	1	-	-	-	-	-		-	2
結核発病の恐れがあると 診断された者	12	-	-	-	-	-	-		2	10

資料：東部保健所調べ

(8) 結核対策研修会

地域における結核の早期診断・適正医療を推進すること、患者の療養生活を支える支援者を増やすことを目的として、下記研修会を開催した。

① 医療従事者研修会

令和5年度

日 時	令和5年11月13日(月) 18:30~20:15	令和5年11月13日(月) 18:30~20:15
場 所	ZOOMウェブセミナー	ZOOMウェブセミナー
参加者	管内医療機関 医療機関26機関、医療従事者延べ34人 (全体参加者216人)	管内医療機関 医療機関11機関1施設、 医療従事者延べ19人
内 容	<p>第一部 東部保健所研修会 (18:30~18:45 ブレイクアウトルーム) 行政説明 検査課 小畑 裕太(管内感染状況) 地域保健課 吉原 喬樹(事例)</p> <p>第二部 県全体研修会</p> <p>1 「結核の診断に必要な検査と鑑別のポイント」 大分県結核診療支援センター 大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 山末 まり 氏</p> <p>2 肺結核を疑うべき画像所見 西別府病院統括診療部放射線科 安藤 ゆみ子 氏</p> <p>3 結核治療の実際 西別府病院統括診療部内科 中野 哲治 氏</p> <p>4 結核診療における地域連携 西別府病院 結核診療支援センター 村山 圭美 氏 角田 美幸 氏</p>	<p>第一部 国東保健部 行政説明 (18:30~18:45 ブレイクアウトルーム) 地域保健課 後藤 彩夏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国東罹患率 ・令和4年新登録患者概要 ・採痰の現状 ・医療機関の皆様へのごお願い <p>第二部 県全体研修会</p> <p>1 「結核の診断に必要な検査と鑑別のポイント」 大分県結核診療支援センター 大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座 山末 まり 氏</p> <p>2 肺結核を疑うべき画像所見 西別府病院統括診療部放射線科 安藤 ゆみ子 氏</p> <p>3 結核治療の実際 西別府病院統括診療部内科 中野 哲治 氏</p> <p>4 結核診療における地域連携 西別府病院 結核診療支援センター 村山 圭美 氏 角田 美幸 氏</p>

資料：東部保健所調べ

② 結核合同研修会

令和5年度

日 時	令和5年12月4日(金) 13:30~15:00
場 所	ZOOMウェブセミナー
参 加 者	東部保健所国東保健部高齢者福祉施設24施設 延べ44人参加 (全体参加者143人)
内 容	<p>1 大分県の結核の現状 大分県福祉保健部感染症対策課主幹 阿南 恵理香</p> <p>2 講演 「結核の基礎と患者支援」 独立行政法人国立病院機構西別府病院 感染管理認定看護師 梶川 優 氏</p>

資料：東部保健所調べ

③ 採痰研修会

令和5年度

日 時	令和5年11月6日(月) 14:00~16:00
場 所	日出町保健福祉センター
参 加 者	管内の医療機関の看護師(11医療機関19人)
内 容	1 報告「東部保健所・国東保健部管内の結核発生動向について」 報告者：東部保健所 田村 歩佳、国東保健部 後藤 彩夏 2 講義及び実技「結核の基礎知識と外来における採痰方法」 講師：独立行政法人国立病院機構 西別府病院 梶川 優 氏

資料：東部保健所調べ

(9) 外国人留学生結核患者療養支援システム強化事業

平成24年度の結核新登録患者の年齢構成比率を全国と比較すると、15～19歳が全国平均の6倍、20～29歳が2.4倍の割合を占めており、15～29歳の患者の約9割が外国人留学生であった。そこで、外国人留学生患者の早期発見と適切な治療の完遂及び感染拡大防止のため、管内の関係機関(別府大学、APU、西別府病院)と連携した支援体制の強化を図ることを目的とし平成25年度から実施している。

〔実務者会議〕

令和5年度

日 時	令和5年7月24日(月) 15:00~16:00
場 所	大分県東部保健所 3階大会議室
参 加 者	・立命館アジア太平洋大学・別府大学・別府溝部学園短期大学の留学生担当者、健康管理担当者 ・保健所地域保健課長、感染症対策班保健師
内 容	○結核の発生動向と基礎知識 ○結核対策強化フローの確認 ○事例検討「要精密検査判定となった学生の受診勧奨について」 ○大学健康診断の流れの確認

資料：東部保健所調べ